

編集手帳



三寒四温という言葉どおり、昨日までの刺さるような寒さが嘘のように、今日は穏やかな春の陽気が広がっている。本誌が発刊される6月下旬には柔らかな心地よい風が吹き、初夏の訪れを肌で感じているはずである。筆者はその季節に仕事を終えて自宅で靴下を脱いだときの爽快感が好きなのだが、共感される読者もいるのではなかろうか。

AIの進歩は凄まじく、医療分野にも大きな影響を及ぼし、医師に求められる役割やスキルは変化しつつある。たとえばAIに医師国家試験を解かせると高い正答率をたたき出すことなどから、もはや知識やデータ解析が試される部分では正確性やスピードといった点においてAIは人間を凌駕していることがわかる。今後、医師の診断プロセスや治療方針はある程度効率化され、単純な作業はAIに任せられるようになるだろう。もちろんAIの結果を盲信するのは危険であり、臨床経験や患者の状態と照らし合わせて適切に判断する能力とその責任が医師には求められる。また、AIに難しいこととして患者に対する人間的な共感やコミュニケーションがあげられる。現在より1,000年以上遡るが、鍼博士の丹波康頼が隋・唐の医書より引用、撰述し、永観2年(984年)に円融天皇に奏進した『医心方』という現存するわが国最古の医書がある。診断法、薬物療法、鍼灸、手技、養生法などの医学知識が網羅されており、当時の実践的な治療マニュアルだったようだ。その医書のなかには患部に手をあてる「手当て」という医療行為の原点とも考えられる概念が記載されている。筆者も幼い頃に親の「手当て」によって腹痛などの疼痛が軽減した記憶があるが、精神的・心理的側面も含めこのような患者に共感し寄り添う人間的な医療行為はいつの時代にも必要であり、患者にとって真の支えになるのではなかろうか。AIの恩恵を受けつつも医師として人間的な共感やコミュニケーションを忘れないことが、これからの診療においてますます重要になるかもしれない。

辻本哲郎

臨床雑誌 **内科** 第136巻1号(第817冊) 2025年7月1日発行

監修：杉本恒明 黒川 清 矢崎義雄 木村 哲 小俣政男 宮坂信之 永井良三
編集委員会：神田善伸(委員長) 立石知也 牧 尚孝 岡本 耕 辻本哲郎

編集兼発行者：東京都文京区本郷三丁目42番6号 小立健太
印刷所：東京都江東区亀戸七丁目2番12号 三報社印刷株式会社
装丁：渡邊真介

発行所
株式会社 南江堂

〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目42番6号
出版(「内科」編集室直通) Tel: 03-3811-9984 Fax: 03-3811-8660
営業(販売1課/卸) Tel: 03-3811-7239 Fax: 03-3811-7230
<https://www.nankodo.co.jp/>

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、株式会社南江堂が保有します。

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(Tel: 03-5244-5088, Fax: 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

図書館等のご利用にかかわる指針は弊社ホームページ(弊社著作物の利用について <https://www.nankodo.co.jp/pages/crp.aspx>)からご確認ください。

広告申込所 〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル6階 株式会社文京メディカル(Tel: 03-3817-8036)